

第 80 回日本臨床眼科学会

- 日 時** 2026 年 10 月 29 日 (木) ～11 月 1 日 (日)
- 場 所** 国立京都国際会館 (〒 606-0001 京都市左京区岩倉大鷲町 422)
ザ・プリンス京都宝ヶ池 (〒 606-8505 京都市左京区岩倉幡枝町 1092-2)
- 学会長** 近藤峰生 (三重大)
- 副学会長** 今野信太郎 (三重県眼科医会)
- プログラム委員長** 平岡孝浩 (筑波大)
- テーマ** The long and winding road
- 主管校** 三重大学大学院医学系研究科臨床医学系講座眼科学 (〒 514-8507 津市江戸橋 2-174)
事務局長: 松原 央
- プログラム** 特別講演
「新しい網膜診療を切り拓く—どこから来たのか, 何者か, どこへ行くのか」 瓶井資弘 (愛知医大)
「視神経炎診療の変遷と進歩—長年の対峙から見た過去・現在・未来」 石川 均 (北里大)
- 招待講演
「Keratoconus—Early diagnosis, progression and stage-appropriate therapy」
Berthold Seitz (Saarland University Medical Center)
「次世代の先生方に伝えたいこと—メイヨークリニックで研究と教育に携わって」
紀太博仁 (Mayo Clinic)
- シンポジウム
見逃すな! 涙道領域における緊急疾患の最前線治療
角膜移植手術の Curting edge
屈折矯正術後眼に対する白内障手術の最適戦略
見直される緑内障点眼治療: Evidence と Real World の交差点
視力を脅かす糖尿病網膜症を究める!
網膜硝子体疾患と緑内障のクロスポイント—臨床の知と研究の視点から見えるもの
免疫を標的とした眼疾患治療の新時代—生物学的製剤による個別化医療へ
斜視手術アップデート—症例別アプローチと最新知見
どうする? どう選ぶ? 屈折矯正の最前線—眼鏡から角膜屈折矯正, 眼内レンズまで
それ, 眼内腫瘍かもしれません—初期診断から治療まで
画像から読み解く遺伝性網膜疾患の病態
見える幸せを支える眼科医療: Well-being の視点から考える視覚と社会のこれから
Vision for Health, Happiness, and Social Impact
眼科周術期 ヒヤットとしないための感染症対策
分子標的薬で変わる甲状腺眼症診療
より良好な術後視機能を提供するために, 網膜剥離手術を再考する!
研究の苦労とヒラメキの瞬間: The long and winding road
10 年・20 年先の眼科はなる: The long and winding road
AI は医師の「目」と「脳」をどう拡張するか?: 臨床意思決定支援の最前線
社会保険会議シンポジウム
視能訓練士プログラム
強度近視のマネジメント—適切な診療を行うための CO の役割を考える
ナーシングプログラム
眼科看護と働き方改革
病医院運営プログラム
いざという時こそ役立つ眼科医療—災害対応力を磨く実践テクニック
Young Ophthalmologists Committee シンポジウム

学会・研究会 ご案内

参加登録

事前参加登録期間：2026年3月3日（火）12：00～9月25日（金）12：00

後期参加登録期間：2026年10月1日（木）12：00～会期終了

本会の参加登録手続きは、インターネットからのオンライン登録のみ受け付けます。

参加費

参加区分	事前参加登録	後期参加登録
医師	20,000 円	27,000 円
研修医 ^{※1} 〔新臨床研修医制度4年目（後期研修2年目）まで〕	5,000 円	7,000 円
大学院生、留学生、コ・メディカル ^{※1}	5,000 円	7,000 円
コ・メディカルサnderパス 〔11月1日（日）のみ参加 ^{※1※2} 〕	—	3,000 円
非医師・民間研究員	20,000 円	27,000 円
初期研修医・学生（医療系） ^{※1}	無料	無料

・税区分：課税（税金10%込）

・共催セミナーなどの飲食費については、参加登録費には含みません。

※1 「研修医」、「大学院生、留学生、コ・メディカル」、「コ・メディカルサnderパス（10月12日（日）のみ参加）」、「初期研修医・学生（医療系）」は、主任教授または所属長等の証明書が必要です。「学生（医療系）」は学生証の写しでも可能ですが、有効期限の記載の写しも必要です。オンライン登録時に登録区分証明書のアップロードが必要となりますので、事前に登録区分証明書【PDF】をダウンロードし、必要事項を記入のうえ、アップロード（ファイルの添付）ができるようご準備ください。

※2 コ・メディカルサnderパスでの参加は、11月1日（日）現地参加のみとなります。オンライン視聴はできませんので、あらかじめご了承ください。

公益社団法人日本視能訓練士協会会員の方へ

特定の職場に勤務していない場合など所属長の証明を取得できない方は、登録区分証明書に視能訓練士協会会員番号をご記入ください。また、当日登録の場合は、会員証もあわせてご提示ください。

学会ウェブサイト <https://convention.jtbcom.co.jp/80ringan/index.html>

運営事務局 株式会社 JTB コミュニケーションデザイン コンベンション事業局内
（〒530-0004 大阪市北区堂島浜 1-1-27 大阪堂島浜タワー 5 階）
TEL：06-4964-8869 E-mail：80ringan@jtbcom.co.jp

第 63 回六大学合同眼科研究会

日 時 2026 年 9 月 12 日（土）13 時 30 分 開会予定

場 所 九州大学医学部百年講堂大ホール（〒812-8582 福岡市東区馬出 3-1-1）

プログラム 特別講演 1 宮崎 大（鳥取大）

特別公演 2 堀 裕一（東邦大）

連絡先 九州大学眼科学教室 医局長 塩瀬聡美

〒812-8582 福岡市東区馬出 3-1-1

TEL：092-642-5648 FAX：092-642-5663 E-mail：oculus@med.kyushu-u.ac.jp

※本研究会は日眼生涯教育事業（1 日 1.5 単位）に申請予定です。

第 65 回日本白内障学会総会・第 52 回水晶体研究会

- 日 時** 2026 年 9 月 17 日（木）～19 日（土）
- 場 所** シーガイアコンベンションセンター（〒 880-0836 宮崎県宮崎市山崎町）
- 会 長** 第 65 回日本白内障学会総会
宮田和典（医療法人明和会 宮田眼科病院）
第 52 回水晶体研究会
森下英晃（九州大学大学院医学研究院生体機能学分野）
- テーマ** Patient based medicine 完全透明化を目指す水晶体研究
- 学会ウェブサイト** <https://jsr65.jp/>
- プログラム** 特別講演「瞳孔から考える白内障手術戦略」
教育講演「エビゲノムと白内障」
白内障学会・水晶体研究会合同シンポジウム「加齢に伴う水晶体・視機能の変化と制御：老視・白内障克服への挑戦」
白内障学会シンポジウム「エビデンスに基づいた白内障手術」
水晶体研究会シンポジウム「水晶体完全透明化を目指す基礎研究：分子・細胞レベルでの新規アプローチ」
- 参加登録** 追加参加登録
2026 年 7 月 31 日（金）17：00～9 月 6 日（日）

参加費

参加登録区分	事前参加登録	追加参加登録
会員	10,000 円（不課税）	12,000 円（不課税）
非会員	14,000 円（税込）	16,000 円（税込）
企業	12,000 円（税込）	14,000 円（税込）
コ・メディカル，初期研修医，大学院生 ^{*1}	—	3,000 円（税込）
学部学生，留学生 ^{*2}	—	無料

^{*1}コ・メディカル，初期研修医，大学院生は，事前登録の対象外となります。当日の参加登録の際には，主任教授もしくは所属長からの「登録区分証明書」が必要です。登録区分証明書をウェブサイトよりダウンロードし，必要事項を記入のうえ，オンライン登録時にアップロードしてください。

^{*2}学部学生・留学生はオンライン参加登録の対象外となります。当日，学生証をお持ちのうえ，参加受付に直接お越しください。「学生証」のご提示がない場合は，当日参加費をお支払いいただく場合がございます。

「学会参加費」と「年会費」はそれぞれ別の費用です。年会費や学会の入会状況等のお問合せは，「日本白内障学会」(<http://www.jsr.net/member/office.html>)へご連絡ください。

第 27 回日本ロービジョン学会学術総会

- 日 時** 2026 年 9 月 19 日（土）～21 日（月・祝）
- 場 所** 宮崎大学錦本町ひなたキャンパス（〒 880-0818 宮崎県宮崎市錦本町 4-5）
- 会 長** 池田康博（宮崎大学）
- テーマ** ロービジョンのイノベーション
- 学会ウェブサイト** <https://convention.jtbcom.co.jp/lowvision2026/>
- プログラム(予定)** 特別講演「視覚支援とモビリティの未来—運転支援・自動運転技術から将来の街作りまで」
教育講演 1「失明から緑内障患者を守る戦略的イノベーション」
教育講演 2「網膜色素変性治療のイノベーション」

学会・研究会 ご案内

教育セミナー「スマホを使い倒す（ロービジョン×スマホ）」
シンポジウム 1「宮崎から発信するロービジョンケア」
シンポジウム 2「ロービジョンケアデバイスのイノベーション」
シンポジウム 3「ロービジョン者の自動車運転を考える」
シンポジウム 4「ロービジョン関連の診療報酬を考える」
シンポジウム 5「言いにくいけど大切なこと～視覚障害者のトイレ問題」
田淵先生追悼講演
学術奨励賞受賞講演

参加登録 後期参加登録期間：2026 年 8 月 20 日（木）正午～9 月 21 日（月）

参加登録費

参加区分	後期参加登録
日本ロービジョン学会会員* ¹	10,000 円
非会員で、以下いずれかの団体の会員の方 ・日本視能訓練士協会会員 ・視覚障害リハビリテーション協会会員	15,000 円
非会員	15,000 円
学部学生* ²	2,000 円

*¹日本ロービジョン学会会員の方は参加登録の際、会員番号の入力が必要になります。会員番号をお忘れの場合は日本ロービジョン学会事務局までお問い合わせください。

*²学部学生の方は参加登録の際、学生証のデータ（裏面に有効期限が記載されている場合は、裏面も含む）をアップロードしてください。

※税区分：不課税

※共催セミナー等の飲食費については、参加登録費には含みません。

第 43 回日本眼腫瘍学会

日 時 2026 年 9 月 26 日（土）・27 日（日）
場 所 大阪公立大学医学部 講堂（〒 545-8585 大阪市阿倍野区旭町 1-4-3）
会 長 田上瑞記（大阪公立大学大学院医学研究科 視覚病態学）
テーマ 深は新なり古壺新酒
学会ウェブサイト <https://convention.jtbcom.co.jp/43jssoo/index.html>
プログラム 招待講演「プロの落語家に学ぶコミュニケーション術」
座長：田上瑞記（大阪公立大学）
演者：桂福丸（落語家）
シンポジウム 1「AI と眼腫瘍」
座長：安積淳（神戸海星病院），田上瑞記（大阪公立大学）
シンポジウム 2「眼腫瘍と研究」
座長：白井嘉彦（東京医科大学），田上瑞記（大阪公立大学）
参加登録 事前参加登録：2026 年 4 月 6 日（月）正午～8 月 6 日（木）
直前・当日登録：2026 年 8 月 20 日（木）正午～9 月 27 日（日）

参加登録費

参加区分	事前参加登録	直前・当日登録	税区分
会員	¥ 8,000	¥ 13,000	不課税
非会員・企業	¥ 13,000	¥ 16,000	税込
非医師・民間研究員	¥ 11,000	¥ 15,000	税込
初期研修医・コメディカル、 医師以外の大学院生 ^{*1}	¥ 3,000	¥ 5,000	税込
大学院生を除く学生 ^{*2}	¥ 1,000	¥ 1,000	税込

^{*1}「初期研修医・コメディカル、医師以外の大学院生」の方は、所属長の証明が必要です。登録区分証明書をウェブサイトよりダウンロードし、必要事項を記入、所属長の署名・捺印の上、参加登録時にアップロードしてください。

^{*2}「大学院生を除く学生（医学生、視能訓練士学生、留学生）」の方は、学生証の提出が必要です。学生証のコピーを参加登録時にアップロードしてください。

第 37 回日本緑内障学会

- 会期** 2026 年 10 月 2 日（金）～4 日（日）
- 会場** 静岡県コンベンションアーツセンターグランシップ（〒 422-8019 静岡市駿河区東静岡 2-3-1）
- 会長** 柏木賢治（山梨大学医学部眼科学教室）
- テーマ** テクノロジーとヒューマニティの融合による緑内障の克服
- 学会ウェブサイト** <https://www.congre.co.jp/jgs2026/index.html>
- プログラム** 須田記念講演「緑内障の早期診断（仮）」
招待講演「科学技術と共に実現するインクルーシブな未来社会に向けて」
Japan-Asia symposium 「Japan-Asia symposium New styles of glaucoma surgeries and imaging in Asia.」
- シンポジウム** 続発緑内障の病態理解から実践管理
海外の知見から緑内障を再考する
緑内障 AI 研究の今とこれから
最新の緑内障画像診断
緑内障と社会とのかかわり
分子生理機構から学ぶ網膜および視神経の病態
眼圧下降によらない緑内障治療の可能性
緑内障手術の現在地と未来戦略
緑内障早期診断の新展開
近未来の緑内障治療薬
新しい緑内障の病態解明と治療の可能性
神経機能の回復を目指した最新の基礎研究
緑内障研究の未来を拓く：ダイバーシティ推進による革新と協働のかたち
緑内障疫学研究の推進：多因子疾患への包括的アプローチと次世代研究の展望
緑内障の進行判定基準を再考する
次世代視野検査の可能性を探る
ビッグデータを用いた緑内障研究事例
緑内障新規検査機器、治療法開発の課題について
基礎研究が拓く、緑内障性視神経障害の新たな病態像
緑内障の遺伝学：病態解明と個別化医療への展望
未来への挑戦—若手が描く緑内障研究
房水流出路のサイエンス

学会・研究会 ご案内

教育セミナー 緑内障進行判定の現実と理想

緑内障診療における社会的サポートの実践知識

参加登録

後期参加登録：2026年：8月7日（金）正午～11月16日（月）

登録費

区分		後期参加登録
医師・教育研究機関研究員	会員	20,000 円
	非会員	23,000 円
企業職員		25,000 円
メディカルスタッフ*	会員	8,000 円
	非会員	10,000 円
研修医*		10,000 円

*学生（大学院生を除く）は無料です。現地の参加登録受付で学生証をご提示ください。

*メディカルスタッフ・研修医の方は、所属長の証明が必要です。

*研修医：新臨床研修医制度3年目（後期研修1年目）までとします。

第259回O.C.C.

日 時

2026年10月17日（土）14：00～17：00

場 所

第二吉本ビルディング（大阪市北区梅田2-2-2 ヒルトンプラザウエスト オフィスタワー8階）

テーマ

メディカル網膜・眼炎症2026：最近のTopics

連絡先

大阪大学大学院医学系研究科眼科学教室

TEL：06-6879-3456 FAX：06-6879-3458

第46回日本眼薬理学会

日 時

2026年11月7日（土）・8日（日）

場 所

じゅうろくプラザ（岐阜市文化産業交流センター）（〒500-8856岐阜市橋本町1-10-11）

会 長

嶋澤雅光（岐阜薬科大学薬効解析学研究室）

テーマ

多様な視点で拓く眼科創薬の未来

学会ウェブサイト

<https://square.umin.ac.jp/jsop46/index.html>

参加登録

事前登録：2026年5月8日（金）～8月31日（月）

直前・当日登録：2026年9月1日（火）～11月8日（日）16：00

参加登録費

参加区分	事前登録	直前・当日登録	税区分
会員 ^{*1}	6,000 円	8,000 円	不課税
非会員	8,000 円	10,000 円	10%税込
薬剤師, 看護師, 視能訓練士, 後期研修医, 医師の大学院生 ^{*2}	2,000 円	2,000 円	10%税込
初期研修医, 学生 (医師以外の大学院生含む) ^{*2}	無料		—

^{*1} 日本眼薬理学会の会員

^{*2} 「薬剤師, 看護師, 視能訓練士, 後期研修医, 医師の大学院生」「初期研修医, 学生 (医師以外の大学院生含む)」の区分を選んだ方は, 所属長の証明が必要です。主任教授または所属長等の証明書または学生証の写しの提出が必要です。参加登録時に登録区分証明書をウェブサイトよりダウンロードし, 必要事項を記入, 所属長の署名・捺印後, アップロードしてください。

The 29th IRSJ (2026)・第 25 回眼科臨床機器研究会 ジョイントセミナー

日 時 2026 年 11 月 14 日 (土) 12:30~17:15
場 所 横浜シンポジア (〒231-0023 横浜市中区山下町 2 番地 産業貿易センタービル 9 階)
会 長 ジョイントセミナー会長 清水公也 (山王病院アイセンター)

IRJSJ 会長 飯田嘉彦 (北里大)
 眼科臨床機器研究会会長 庄司信行 (北里大)

プログラム The 29th IRSJ (2026) 12:30~13:50
 オーガナイザー: 川守田拓志 (北里大・医療衛生)
 メインテーマ「老視矯正手術」
 モデレーター: 飯田嘉彦 (北里大), 川守田拓志 (北里大・医療衛生)
 「多焦点 IOL の術前検査」磯村俊也 (広田眼科)
 「早期老視年齢における屈折矯正手術」五十嵐章史 (代官山アイクリニック代官山院)
 「多焦点および焦点深度拡張型眼内レンズによる老視矯正」柴 琢也 (六本木柴眼科)
 「眼内レンズによるモノビジョン」飯田嘉彦 (北里大)
 第 25 回眼科臨床機器研究会 14:00~17:15
【講演 I】 白内障・硝子体手術装置 UNITY[®] SYSTEM
 モデレーター: 柳田智彦 (北里大)
 ①「UNITY Vitreoretinal Cataract System」眞杉拓自 (日本アルコン)
 ②「硝子体手術での使用経験」大江阿子 (北里大)
 ③「UNITY VCS の前房安定性の基礎的評価と臨床的有用性」鈴木久晴 (善行すすき眼科)
【講演 II】 次世代型ハイスpek OCT: 400 kHz がもたらす知見
 モデレーター: 平澤一法 (北里大)
 ①「BMizar 製品説明」古川健太郎 (ニコンソリューションズ)
 ②「OCT 400 kHz の世界 (仮)」武田大輔 (アールイーメディカル)
 ③「DREAM OCT の使用経験について」西山剛生 (北里大)
 ④「BMizar がもたらす網脈絡膜の新知見」星野順紀 (群馬大)
【講演 III】 小児眼軸測定 OA-1 および小児近視矯正
 モデレーター: 龍井苑子 (北里大・医療衛生)
 ①「OA-1 の製品紹介と開発コンセプト」川村憲司 (トーマコーポレーション)
 ②「北里大学における OA-1 の使用経験」鷲澤真之 (北里大・医療系研究科)

学会・研究会 ご案内

③「小児近視における眼軸長測定役割」糸川貴之（東邦大・大森）

申込方法 下記 URL よりもしくは QR コードよりお申し込みください。

<https://ws.formzu.net/fgen/S98332121/>



事前登録締切 2026 年 10 月 16 日（金）

主 催 北里大学医学部眼科学教室

連絡先 東京都新宿区高田馬場 2-4-7 スタッフルームタケムラ（有）内

IRSJ・眼科臨床機器研究会ジョイントセミナー事務局

TEL：03-5287-3801 FAX：03-5287-3802 E-mail：rssympo@staffroom.jp

第 50 回日本眼科手術学会学術総会

日 時 2027 年 1 月 29 日（金）～1 月 31 日（日）

場 所 東京国際フォーラム（〒100-0005 東京都千代田区丸の内 3-5-1）

総会長 稲富 勉（国立長寿医療研究センター感覚器センター長、京都府立医科大学）

副会長 鈴木 聡（愛知県眼科医会会長）

テーマ 原点回帰と未来への革新 Back to the Basics & Future Innovation

学会ウェブサイト <https://www.jsos.jp/jsos50>

プログラム（予定） 特別講演

瓶井資弘（愛知医大）「サージャンなら新しい術式開発を目指そう」

本庄 恵（東京大）「房水メディエーターから考える緑内障病態と手術戦略」

International 50th JSOS symposium

「Beyond Cataract Surgery：The Global Future of Refractive Cataract Surgery」

Thomas Kohnen（Germany）

Terry Kim（USA）

50 周年記念企画：原点回帰—日本眼科手術 50 年の歩みと未来への継承—

会長企画

シンポジウム、教育セミナー

ナーシングプログラム

視能訓練士プログラム

インストラクションコース

一般講演

共催セミナー

学術展示

企業展示

市民公開講座

参加登録

事前通常登録期間（通常）：2026 年 8 月 21 日（金）～11 月 12 日（木）

	事前参加（通常）	当日登録
会員	¥15,000	¥20,000
非会員	¥20,000	¥25,000
大学院生・後期研修医	¥8,000	¥10,000
コメディカル	¥3,000	¥5,000
コメディカルサンデーパス (1 月 31 日のみ参加)	—	¥3,000
初期研修医・学生・留学生	—	無料
企業	—	¥5,000（※）

（※）企業展示会場のみ入場可

※詳細は、学術総会ウェブサイトにてご案内いたします。

連絡先

第 50 回日本眼科手術学会学術総会 運営事務局
 株式会社 JTB コミュニケーションデザイン コンベンション事業局内
 〒530-0004 大阪市北区堂島浜 1-1-27 堂島浜タワー 5 階
 E-mail : jsos50@jtbcom.co.jp